

## 南会津地域観光ビジョン策定の背景と目的

- ・南会津地域は豊かな自然、歴史、伝統文化や食など多様な資源に恵まれている。
- ・その一方で、人口減少・高齢化が県内他地域よりも進行しており、地域経済の縮小や地域活力の低下が懸念されているほか、本地域の基幹産業の一つである「観光関連産業」は、観光客入込の減少により、厳しい状態が続いている。
- ・このような状況を踏まえ、本地域の観光を「稼ぐ産業」とするため、「南会津地域観光ビジョン」を策定し、地域が共通認識のもと、一体となって観光振興に取り組む。

## 南会津地域観光の現状と課題

- ・観光客入込状況は、東日本大震災以降、平成25年をピークに減少が続き、令和2年以降は新型コロナウイルスの影響からさらに落ち込んでいる。※1
- ・旅行者が南会津地域内に滞在した日数は、「1日」が64.7%と最も多い。※3
- ・南会津地域の「認知度21.4%」、「来訪率24.7%」、「関心度10.7%」は低い。その中でも、年代別では「60代」が、住居地別では「東北」「北関東」の認知度、来訪率が比較的高めとなっている。※2
- ・旅行中の消費額は、宿泊費では31,000円、飲食費は6,700円、土産代では5,200円となっている。※3
- ・地域内を移動する手段や仕組みが少なく、旅行者の84.5%は自家用車での来訪となっている。※3

## 課題と意向を踏まえた取組、方向性

### ➤南会津地域が選ばれる観光地となるために

- ・南会津地域のブランド化等によりイメージの定着を図る。
- ・メディア、インターネットを活用した効果的な情報発信に取り組む。
- ・エビデンスに基づいた施策の検討に資するため、観光動向調査等に取り組む。

### ➤観光消費額拡大のための仕掛けづくり

- ・旅行単価（宿泊費、飲食費、土産代等）を押し上げるため、ターゲット層を考慮した食、コンテンツ等の磨き上げを行う。
- ・消費行動につながるストーリーづくり
- ・既存資源を組み合わせた魅力向上、地域資源の掘り起こし、観光と農林業との連携等を行う。

## 本ビジョンの位置づけ

- ・本ビジョンは福島県最上位計画となる「福島県総合計画」地域別主要施策の個別計画と位置づける。

期間 2030年までとする

## 体制

- ・観光推進のための様々な取組を効果的に実施するためには、地域住民、事業者、観光協会、行政等が連携を取りながら官民協働で進める。

## 南会津地域観光客入込状況※1

図1-南会津地域観光客入込状況

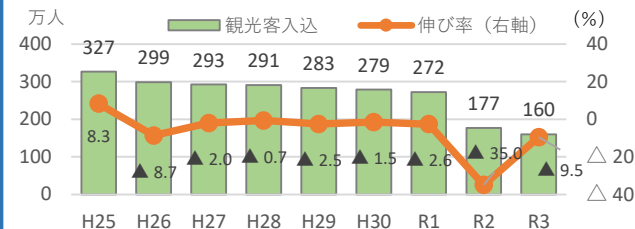
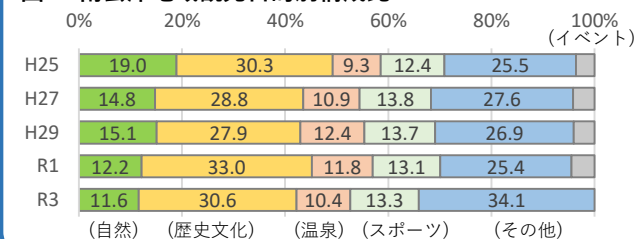


図2-南会津地域観光目的別構成比



## 観光客の意向※3

- 南会津地域を観光先として選んだ理由
  - ①自然景観・紅葉②観光名所③料理・酒
- 南会津地域の滞在の満足度
  - ①高い②やや高い → 8割以上
- 満足度が高かったコンテンツ
  - ①自然②食③観光スポット
- 満足度が低かったコンテンツ
  - ①なし②交通機関③食・土産
- 観光・旅行に求めるもの
  - ①リラックスしたい②日常から離れたい
  - ③土地ならではのものを楽しむ
- 森林資源の利用意向 利用したい→8割以上

## 目標値

- ・観光客入込数
- ・観光客の再来訪意欲 等

出典 ※1 福島県観光客入込状況（令和3年分）  
 ※2 福島県観光地実態WEB調査（令和3年度）  
 ※3 南会津地域観光客動向調査